

印刷入稿データ作成の手引き

※データはAdobe(アドビ社)のIllustratorで作成の上、基本的には完全データ支給をお願いいたします。

●完全データ概要●

- ① 入稿用テンプレートがある場合、必ず使用してaiデータ(イラストレーター)でご入稿ください。
- ② 文字は必ずすべてアウトライン化して入稿してください。アウトライン化せずに入稿されると文字化けの原因になります。
- ③ イラストレーターの効果の固定化(アピアランスの分割等)をしてください。データの破損・トラブルの原因になります。
- ④ 画像データはリンクで配置し、レイアウトデータと一緒にフォルダに入れてください。(画像埋め込みでも可)
- ⑤ 色指定がある場合はDICカラー、PANTONEカラー(Solid推奨)、現物色見本(配送)での指定をお願いいたします。

aiデータ

カラーモード

CMYK (※RGBは不可)

デザイン
サイズ

仕上がりサイズから

上下左右に2mmずつ余分にデザインを作成してください。(塗り足し)

※製品形態の仕様にあわせて、塗り足しの追加や仕上がりから内側2mmを削除とする場合がございます。

画像を使用
する場合

カラーモード

CMYK、グレースケール (※RGBは不可)

データ形式

EPS・PSD・JPEG・TIFF

解像度

350 dpi 推奨 (※それ以上・以下の場合はモアレ・粗いなど画質に影響が出る恐れがあります。)

イラレに配置

リンク・埋め込み (どちらでも可)

入稿データ
作成時の
注意点

●デザインオブジェクト、文字の線幅は

デジタル印刷=0.2ポイント以上、グラビア印刷=0.5ポイント以上の太さにしてください。

(それ以下ですとカスレ、色ブレの原因になります。)

●スウォッチの特色はプロセスカラー(グローバル)に変更してください。

(スウォッチの特色をWクリックし、カラータイプを”特色”から”プロセスカラー”へ変更してください。)

●効果はアピアランス分割してください。(ワープやドロップシャドウ等)

(該当オブジェクトを選択し、オブジェクト>アピアランス分割をクリック)

●パターンは分割・拡張してください。(スウォッチのパターンのことです。)

(該当オブジェクトを選択し、オブジェクト>分割・拡張...をクリック)

●文字をアウトライン化してください。

※上記の処理がされていない場合や、誤ってオーバープリント設定されていた場合など、正しく処理・設定されていないと思われ結果となってしまう場合がございますので、データ作成時にご注意ください。

データ
入稿時の
注意点



●イラストレーターの弊社使用バージョンはIllustratorCS5~6、CCとなっております。

作成されたバージョンのご連絡をお願いします。 ※CCは「CC2020」など0000年の情報もお願いします。

●データは必ず圧縮してください。圧縮形式はzip形式にてお願いします。

●不必要なデータはトラブルの原因となりますので、一緒に入れないようお願いいたします。

●画像を”リンク”で配置した場合、画像データも忘れずに入稿をお願いします。

●確認用のPDF(またはJPEG)も忘れずに入稿をお願いします。

●色指定はDICカラー、PANTONEカラー(「Solid」推奨 ※弊社カラーチップ所持)での指定をお願いします。

または色見本となる現物をお送りください。

※できる限り指定色に合わせますが、プロセスカラー(CMYK)+白での印刷となりますので、表現できる色に限界がありますことをご承知ください。

●ダミーデータ(印刷不要データ)がIllustrator上にある場合、ご説明いただかない限りはそのまま印刷されますので、”印刷不要”などの希望がある場合は明確にご指示をお願いします。

●白版のヌキ指定(アルミ地を活かす等)がある場合はわかりやすくご指示をお願いします。

[指示例]・データ上に指示をする(白版を特色設定(プロセスカラー(グローバル)へ変換したもの)+説明書き)
・カンパに指示を記載し、スキャンした書類をPDFで添付する

●再入稿・改版の際にデータのみですと確認に時間を要しますので必ず変更内容のご連絡をお願いします。

[説明例]・色は前回通り、裏面の文字修正。 など概ねの変更内容で構いません。

※Illustratorでレイヤー分けする、デザイン余白に記載する。メール本文に記載する。等どのような方法でも結構です。
※入稿時と同様にIllustrator使用不可の環境でも確認できるよう確認用のPDF(またはJPEG)の添付もお願いします。

印刷入稿データ チェックシート

◎ デザイン作成された方は下記チェック項目のご確認をお願いします。

【作成時の確認点】

- サイズ 原寸で作成している。
- カラーモード ドキュメントのカラーモードは CMYK になっている。*RGB 不可。ウィンドウ▶ドキュメント情報で確認。
- トンボ 「オブジェクト▶トリムマークを作成」で作成している。*効果(アピアランス)のトリムマークは使用不可。
- レイヤー 印刷するもの、印刷しないものを分けている。不要なレイヤーは削除している。*サブレイヤー非推奨。
- アタリ表記 印刷しないものはアタリ表記(ダミー画像、賞味期限印字スペースなど)を明確にしている。
- 文字の範囲 裁断、シールされてはいけない文字は仕上がりサイズより5mm 以上内側に入っている。
- 塗り足し 上下左右に2mm ずつ余分にデザインを作成した。*製品形態の仕様により変更となる場合があります。
- 線幅 線幅はデジタル印刷=0.2ポイント以上、グラビア印刷=0.5ポイント以上になっている。
- 不要削除 印刷範囲内に不要なトンボ、ガイドライン、オブジェクト、余分なポイントは無い。
- 色指定 [色指定がある場合] DIC カラー、PANTONE カラー (Solid 推奨)、現物色見本(配送)で指定した。スウォッチの特色はプロセスカラー(グローバル)に変更した。
- 黒 黒は K100% になっている。*リッチブラックを指定する場合は別途記載する。
- 総インキ量 4色掛け合わせ部分(画像含む)の総インキ量は、CMYK 合計で 300% 以下にしている。
- 効果の固定 効果(ドロップシャドウ等)を使用している場合は「オブジェクト▶アピアランス分割」をしている。
- パターンの固定 スウォッチのパターンを使用している場合は「オブジェクト▶分割・拡張」している。
- 文字のアウトライン ロックを解除してアウトラインを作成している。*書式▶フォント検索で空欄になっているか確認。
- 配置画像サイズ 拡大・縮小しすぎでない。*80~125%推奨。推奨値外は大容量、モアレの原因になります。
- 画像カラーモード CMYK またはグレースケール、モノクロ2階調で作成している。*RGB、ダブルトーン等は不可。
- 画像解像度 カラー 350、グレースケール 350 ~ 600、モノクロ 2 階調 600 ~ 1200(単位: pixel/inch)

【入稿時の確認点】

- 出力確認 プリントして全体(サイズ、文字、色、デザイン)を最終確認している。
- ファイル名 入稿データのファイル名は半角英数のみ 16 字以内で作成し、拡張子がついている。
- バージョン記載 入稿メールの本文やデータ上などにイラストレーターのバージョンを記載した。(例: CC2020)
- 不要なファイル 入稿フォルダに間違ったファイル、不要なファイルを保存していない。
- リンク画像 [画像を埋め込みではなくリンクで配置した場合] 画像ファイルも入稿フォルダに入れた。
- 確認用ファイル 確認用の PDF(または JPEG)を作成した。*イラストレーターのみ入稿は非推奨。イラストレーターは開いた環境で見え方が変わる場合があり確認がしにくいいため。
- 白版のヌキ指定 [白版ヌキありの場合] デザインに説明書き、イラストレーターの白版レイヤー作成等で指定した。
- メディア入稿 [CD 等メディア入稿の場合] 他のパソコンでも読み込むことができるか確認した。

上記のチェック内容を満たさない場合、データ上での不備は、一切責任を負いかねますのでご了承ください。